



芝浦アーバンデザイン・スクールは芝浦工業大学デザイン工学科建築・空間デザイン領域が進める大学と地域が連携して都市の魅力を再発見再検討するプロジェクトです。環境保全、安全安心、持続経済など都市のあり方と建築の意味が改めて問われています。教育、研究、社会貢献の3つの学びを通して建築、都市、地域の未来を探ります。東京都港区(2013年度～)とさいたま市(2016年度～)と行っています。Shibaura Institute of Technology started Urban Design School Shibaura in 2013 autumn as a project of Universities as the Center of Communities (COC) approved by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The School is an academic and social program aimed at reconsidering cities and the built environment through education, research and service to local communities.

1 教育 地域の建築から学ぶ設計演習

アーバンデザイン・スクールは地域の空間資源を題材に行政や住民と意見交換して検討し成果を公開する交流型演習を行っています。デザイン工学科建築・空間デザイン領域3年プロジェクト演習は2015年度まで港区指定文化財木造建築旧協働会館、2016年度から芝浦キャンパスから徒歩5分にある運河沿い築40年のビルを題材にしています。2014年韓国CAU、2015年タイKMUTT、2016年マレーシア工科大学UTMに続き2017年タイKMUTTを招き、港区白金台いきいきプラザ・児童館を題材に国際ワークショップを開催しました。



プロジェクト演習2017 水辺の建築再生
Renovation of Waterfront Building

2 研究 建築を通して都市を捉える

アーバンデザイン・スクールは地域の課題を見える化することを研究の目標としています。①地域の現状を模型・図面・写真に表現する、②地域が持つ可能性を建築のデザインを通して検証する、③他地域と比較して対象地域の課題を相対化する。大学の地元港区芝浦・海岸地区の基礎調査を続けています。2016年度から埼玉スタジアムのあるさいたま市浦和美園地区のまちづくりに参加、2016年度は街並形成のマスタープランを提案、2017年度は木造仮設建築を提案して竹製街具を試作運用しました。



国際建築・空間デザインワークショップ
International Workshop SIT and KMUTT

3 社会貢献 都市と地域に開かれた場

アーバンデザイン・スクールはまちづくりの知見と方法を大学と地域が共有することを社会貢献の目標としています。展示会や発表会を通して大学の成果を開示して地域の反応を教育研究にフィードバックします。2012年度から地元の芝浦運河まつり9月とBAYAREA365DAYS3月に展示しています。2012年度から公開講座を大学で主催、2016年度から港区芝浦港南地区総合支所主催公開講座『知生き人養成プロジェクト』に出講しています。



浦和美園都市デザインスタジオ・竹製街具
Urawa-misono studio and urban furniture bamboo



芝浦運河まつり2017
Shibaura Canal Festival



港区芝浦港南地区総合支所知生き人養成講座
Shibaura-konan Seminar